

日本ホリスティックナーシング研究会誌投稿規定

日本ホリスティックナーシング研究会誌は、**Japan Holistic Nursing Association (JHNA)** の機関誌で、研究会員による研究成果の発表、研究会員同士の情報交換を行う和文誌である。学術・実践の両面にわたり、わが国のホリスティックナーシングの発展に寄与するため、日頃の実践と研究成果の発表の場とする。また実践で経験された症例を積み重ね、さらなるホリスティックナーシングの研鑽に繋がることをねらいとし、広い範疇の投稿を受け入れる方針とする。

1. 投稿者の資格

投稿者は、筆頭者を本研究会員（賛助会員を除く）とする。ただし、編集委員会から依頼された原稿についてはこの限りでない。

2. 原稿の種類と内容

- 1) 原稿の種類は、論壇、総説、原著論文、研究報告、実践報告、その他である。
- 2) 原稿の種類は、以下の内容を参考に判断し、著者は原稿にいずれかを明記しなければならない。

論 壇：ホリスティックナーシングに関する問題や、話題のなかで、今後の方向性を指し示す論述や提言。

総 説：ホリスティックナーシングに関わる特定のテーマについて、多面的に知見を集め、また文献をレビューして、総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。

原 著：研究論文のうち、研究そのものが独創的で、新しい知見が論理的に示されており、ホリスティックナーシングに関する研究として意義が明らかであるもの。

研究報告：原著論文には及ばないものの、資料的価値が高く、研究結果の意義が大きく、ホリスティックナーシングに関する研究の発展に寄与すると認められるもの。

実践報告：ホリスティックナーシングに関する研究として興味深い実践の報告。

その他：ホリスティックナーシングに関する研究、または実践に関する見解等で、編集委員会が適当と認めたもの。

3. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、倫理審査委員会の承認を受けている旨が本文中に明記されていること。ただし、実践報告のなかでも症例報告にお

いては必ずしも倫理審査を必要としない。その場合は、個人情報保護に留意されていること、非人道的な質問・調査がないこと、人体からの試料採取や侵襲が発生しないことが条件となる。

4. 投稿手続き

- 1) 投稿原稿は、原稿執筆の要領にしたがって作成する。
- 2) 原稿は著者名、所属、謝辞など、投稿者を特定できる事項を削除し、記載順は、原稿の種類、和文タイトル、英文タイトル、和文抄録、英文抄録（原著のみ）、日本語キーワード、英語キーワード、本文、文献リストとする。
- 3) 投稿申込書と、論文投稿チェックリストを研究会ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入して原稿と図表とともに電子メールで下記の宛先に送付する。
- 4) 上記3) までの書類とともに電子メールで送付された原稿の送信日を受付日とする（受付日と到着順に付す番号を投稿者に通知する）。
- 5) 原稿の採否は査読委員による査読を経て、編集委員会が決定する。
- 6) 編集委員会の判定により、原稿の修正および原稿の種類の変更を求められることがある。
- 7) 原稿の修正版を提出する際には、修正箇所をアンダーラインで示す。また、回答書を研究会のホームページよりダウンロードし、必要事項を記載して添付する。
- 8) 掲載が認められた後、事前に削除した著者全員の氏名と所属、謝辞などを記した原稿、図表番号とタイトルを付した図表、論文投稿チェックリスト、投稿申込書を改めて送付する。また図表番号とタイトルを除いた図表を PDF 化したもの、著作権譲渡同意書、および原著論文の場合は英文抄録のネイティブチェック証明書（任意の書式）も電子メールで送付する。
- 9) 原稿および提出に必要な書類の送付先は下記に示す。

日本ホリスティックナーシング研究会 研究会誌編集委員会

E-mail : info@jhna.jp

5. 著者校正

査読を経て、編集委員会に受理された投稿原稿については、著者校正を1回行う。ただし、校正後の加筆は原則としてみとめない。

6. 原稿執筆の要領

- 1) 原稿は A4 判横書きで、Microsoft Word（Windows 版、macOS 版 2016～2019）を使用し、文字のフォントは 10.5 ポイント、游ゴシック、英数字は半角、Segoe UI、句読点は「，」「．」「。」とする。（游ゴシック、Segoe UI がいない場合は、MS 明

朝体， Times New Roman でも良い）。一行の文字数は 35 字， 1 ページの行数を 28 行（約 1,000 字）とし， 下部中央にページ数を入れる。

- 2) 投稿原稿の 1 編は原稿の種類を問わず， 図および表を含めて下記の制限内にとどめることを原則とする。

論 壇：4,000 字以内
総 説：12,000 字以内
原 著：16,000 字以内
研究報告：12,000 字以内
実践報告：8,000 字以内
その他 ：4,000 字以内

- 3) 原著は和文・英文の抄録， 研究報告は和文の抄録を付けて， キーワードをつける。和文抄録は 400 字前後， 英文抄録は 250words 前後， キーワードは英語を含め 4 語程度とし， 1 ページに納め本文のページ数に入れない。
- 4) 原稿中に使用する外国語はカタカナで表記し， 外国人名や日本語訳が定着していない学術用語などは原則として活字体の綴りで記述する。
- 5) 図表（図は写真を含む）は， ページ数を入れず， 図 1， 表 1 などの通し番号をつけ， A4 版 1 枚につき図表 1 つとし， 本文とは別に作成する。なお図表の挿入位置は本文原稿内にそれぞれ朱書きで示す。
- 6) 図表は原稿量に含まれ， 図表の大きさや文字数は以下を目安とする。

A4 版 1/4 程度： 400 字
1/2 程度： 800 字
1 枚相当：1,600 字

7) 文献記載の様式

- (1) 文献のうち， 引用文献は本文引用箇所の最後に（著者 西暦， ページ）として引用を示し， 参考文献として示す場合は， 文章の最後に（著者 西暦）とする。
- (2) 注記の場合は， その文章の最後の肩に 1) などの番号をつけ巻末に「注」と記載し， 番号順にまとめて記載する。
- (3) 引用・参考文献は注記の後に「引用・参考文献リスト」として， 著者名のアルファベット順に列記する。
- (4) 巻末に引用・参考文献を記載する方法は下記の例示にしたがう。
 - ① 雑誌...著者名（西暦年）表題名， 雑誌名， 巻（号）， ページ。
 - ② 単行本...編集者名（西暦年）書名（版）， 発行所， ページ。
 - ③ 訳本...原著者名， 訳者名（原著出版年；訳書出版年）書名（版）， 発行所， ページ。
 - ④ 電子文献...著者名， タイトル， URL， 入手年月日
 - ⑤ 文献著者が 4 名以上の場合...筆頭者から 3 名をあげ， ○○， 他とする

⑥同一著者が同年に複数の論文を発表している場合...発行年の後に a,b,c...をつけて区別する

⑦Web サイト, Web ページ...作成者名, Web ページの題名, <http://www.xxxxx>
(参照年月日)

〈文献記載例〉

小坂橋喜久代, 岡田朱民, 柳奈津子, 他 (2018) 看護管理者に知ってほしいリラクゼーション法とその効果, 看護管理, 28 (12), 1096-1101.

小坂橋喜久代, 荒川唱子 (2013) リラクゼーション法入門-セルフケアから臨床実践へとつなげるホリスティックナーシング, 日本看護協会出版会.

Nightingale, F.著/湯槇ます, 薄井担子, 小玉香津子, 他訳 (原著の発行年/翻訳書の発行年) 看護覚え書-看護であること看護でないこと (7版), 現代社.

Albert. A.A., & Smith. B.B. (2018) Title of article. Title of journal, vol. (no), xxx-xxx.

〈電子書籍記載例〉

・ DOI がある論文

看護花子 (2018) 日本におけるホリスティック・ケア, 日本〇〇学会誌, 1 (2), 1-10. doi : 11.2000 (参照 2018 年 6 月 15 日)

Albert. A.A., & Smith. B.B. (2018) Nursing Art and Holistic Care. Japanese Journal of Nursing, 1(2),1-10. doi : 11.2000(accessed 2018-6-15)

・ DOI がない論文

看護花子 (2018) 日本におけるホリスティック・ケア, 日本〇〇学会誌, 1 (2), 1-10. <http://www.xxxxx.com> (参照 2018 年 6 月 15 日)

Albert. A.A., & Smith. B.B. (2018) Nursing Art and Holistic Care. Japanese Journal of Nursing, 1(2),1-10. <http://www.xxxx.com> (accessed 2018-6-15)

・ DOI がある書籍

看護花子 (2018) 日本におけるホリスティック・ケア, doi : 11.2000 (参照 2018 年 6 月 15 日)

Albert. A.A., & Smith. B.B. (2018) Nursing Art and Holistic Care, doi : 11.2000 (accessed 2018-6-15)

・ DOI がない書籍

看護花子（2018）日本におけるホリスティック・ケア，

<http://www.xxxxx>（参照 2018 年 6 月 15 日）

Albert. A.A., & Smith. B.B.（2018）Nursing Art and Holistic Care.

Retrieved from

<http://www.zzzz>（accessed 2018-6-15）

〈Web サイト記載例〉

日本ホリスティックナーシング研究会，<http://www.jhna.jp/>（参照

2019 年 3 月 21 日）

7. 利益相反（Conflict of Interest, COI）

論文執筆に関する研究にあたり，企業・組織または団体から発表内容に係る経済的支援を受けた場合には，利益相反（COI）状態を記載する。

利益相反とは，外部との経済的な利益関係等によって，公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる，または損なわれているのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態のことである（「厚生労働科学研究における利益相反（Conflict of Interest：COI）の管理に関する指針」平成 20 年 3 月 31 日科発 0331001 号）。

なお投稿段階では，著者名は伏せた状態で有無を記載し，論文採択後，「謝辞」の欄の次に「利益相反」の欄を設け，著者名を入れた利益相反内容を記載する。

〈記載例〉

・ 開示項目がある場合

著者 A は，株式会社〇〇から研究資金の援助を受けた。著者 B は，〇〇株式会社から講演料などの謝金を受けている。著者 C は，株式会社〇〇から奨学寄附金（奨励寄附金）を受けている。著者 D は，利益相反はない。

・ 開示項目がない場合

利益相反なし。

8. 著作権

著作権は本研究会に帰属する。掲載後は本研究会の承諾なしに記載することを禁ずる。最終原稿提出時，編集委員会より提示される著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し，スキャンして PDF 形式で論文とともに送付する。

附則

本規程は、2019年9月15日から施行する。

本規程は、2020年9月25日から施行する。